

長崎県立大学

情報セキュリティ学科の増員と
「しまなび」プログラムの継続で
長崎にしあわせを呼ぶ風を起こす

地域の〰️これから〰️を紡ぐリレーションシップ



長崎県立大学は九十九島の潮風が心地よい佐世保校と、専門的な設備が整ったシーボルト校で人材育成を行っています。



長崎県立大学 学長
木村 務 氏

負のスパイラルを招く 国際競争の激化に対抗

かつて日本の医学や科学技術の発展に貢献し、日本初の戦艦修理工場「長崎鎔鉄所」設立以降は、造船業を中心に発展してきた長崎県。活気に満ちていた都市が、今では多くの課題を抱えていると聞きます。長崎県立大学の木村務学長に、くわしくお話を伺いました。

「長崎県は今、著しい人口減少に直面しています。グローバル化に伴う国際競争の激化が、造船といった基幹産業の衰退を招きました。雇用機会が減少した結果、若年層は都市に流出し、地域は超高齢社会化。このままではサービス業をはじめあらゆる産業が長崎県進出に二の足を踏む、という負のスパイラルを起こしてしまいます。」

本学は、経営学部と地域創造学部を擁する佐世保校と、国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部を擁するシーボルト校の2キャンパスからなる県立大学です。県立の大学として、地域のリーダー及び担い手となる人材育成とともに、『地域の企業と連携して研究活動を行い、産業振興に寄与する』という重要なミッションに挑んでいます。

注目すべき研究活動としては、看護栄養学部の田中一成教授が他大学と共同開発する長崎びわの葉ダイエット茶「ワンダー

リーフ美軽茶」や、国際社会学部長の森田均教授が長崎市と共同開発している路面電車の低床車両位置情報サービス「ドコネ」などが挙げられます。経営学部の宮地晃輔教授においては、企業と連携して経営戦略に欠かせないバランススコアカードの研究を進めるとともに、学生視点の研究によつて経営人材を育成。

研究が直接地域に役立つのはもちろんですが、学生とともに進める企業との共同研究では知識を知恵に変えて活躍できる人材を輩出できることも大きな魅力です。

「しまなび」プログラムで 学生が新たな価値を見出す

地域創生の一環として「しまなび」プログラムを全学必修科目として取り組む同学。持続可能な地域を創造するリーダーを育成したい、と木村務学長の言葉に力が入ります。

「2015年度から、グローバルな視点とローカルな視点を持つて地域課題に取り組める人材育成を目的に、『しまなび』プログラムをスタートしました。これは、対馬、豊岐、五島、新上五島、小値賀、宇久、的山大島の『しま』に学生が渡つてフィールドワークを行い、地域の方とコミュニケーションをとりながら地域の価値や課題解決策を考察していくプログラム。学習成果として

企画提案も行っており、豊岐市のPRボスター、五島市の観光リーフレット・パンフレット、かんころ餅パッケージの製作など多くの企画を実現してきました。豊岐産牛肉を用いた食品企画については3年間継続して実施。2018年度は東京の物産展でライスボールを販売することができました。

中には『斬新なアイデアが出ていない』という厳しい声もありますが、地域の方からは『若い人がしまに来てくれてうれしい』とうれしい声をいただいています。学生たちも地域の方とのふれあいから課題を身近に感じて、意欲的に取り組んでいるようです。

専門科目として展開する実践科目では、店舗運営や事業実践を地域の中で体験。企業インターンシップや公共機関インターンシップでは1ヶ月に及ぶ現地研修を行い、地域に貢献できる人材を育成しています。

2020年度、本学大学院では地域創生研究科を創設しました。こうした大学の学びを発展させる形で、グローバル化への適応、地域の課題解決に向けて、リーダーシップを発揮して行動できる人材を育成していきます」

Society5.0へ地域愛が 明日の長崎を元気にする

2018年12月20日、総務省からSociety5.0を踏まえた地域力強化プランが発表されました。Society5.0とはネットワークやIoT技術を活用した超スマート社会。長崎県でも計画が進んでいる、と木村務学長は続けます。

「リモートワークやオンライン診療が普及する未来も夢ではありません。年齢、性別、地域、言語などに縛られず、あらゆる人が快適に暮らせるのが超スマート社会。こうしたSociety5.0時代の到来を見据え、長崎では豊岐市の『豊岐・粋・な Society5.0』のように地域で動き始めているところもあります。長崎県でもIT情報産業の集積をめざして計画を進めており、企業と共同研究を行う共同ラボを設置予定です。本学はこの計画に呼応して情報セキュリティ学科の定員40名を増員。情報分野の人材育成が、シリコンバレーのような情報産業集積につながり、若年層の県内定住を増加させると考えています。」

当然、人口を増やすだけで持続可能な地域が叶うとは思っていません。『しまなび』プログラムに参加した学生たちは『しま』のために考え、行動することに喜びを感じてくれました。知識やスキルに加えて、人のため社会のために力を生かしたいという価値観や地域愛を育んでこそ、持続可能な地域社会形成や産業集積につながると考えています」

長崎県立大学

所在地 (佐世保校) 〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123 (シーボルト校) 〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1
TEL 学生支援課 学生グループ (佐世保校) 0956-47-5703 (シーボルト校) 095-813-5065
URL http://sun.ac.jp/